

## 〔海況概要〕（令和4年1月6日～1月12日）

今週の本県近海の表面水温は、11～19℃台を示し、やや低めの水温でした。

## 〔漁況概要〕（令和4年1月6日～1月12日）

- 中小型まき網――西彼地区では、マサバなどが1日1統当たり10トンの水揚げで、前週の77%（前年を下回った）。五島奈留地区では、マサバなどが1日1統当たり2トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。北松南部地区では、マサバなどが1日1統当たり16トンの水揚げで、前週の5倍（前年を上回った）。
- イカ釣――スルメイカは、対馬東岸地区では、1日1統当たり18kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。壱岐勝本地区では1日当たり318kgの水揚げで、前週の27%（前年を下回った）。ケンサキイカは、対馬東岸地区では1日1統当たり6kgの水揚げで、前週の67%（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、1日当たり64kgの水揚げで、前週の67%（前年を上回った）。
- 定置網――五島魚目地区では、ブリなどが1日1統当たり196kgの水揚げ。対馬西岸地区では、ウスバハギなどが1日1統当たり6kgの水揚げ。対馬東岸地区では、スルメイカなどが1日1統当たり154kgの水揚げ。
- 一本釣――北松宇久地区ではブリが1日1統当たり212kgの水揚げで、前週を上回った（前年を上回った）。

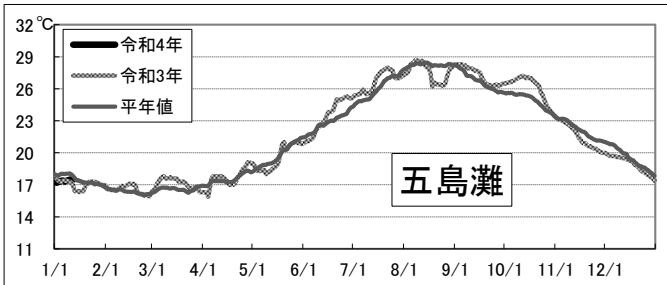
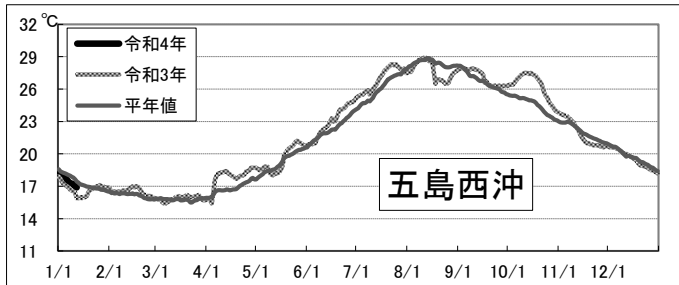
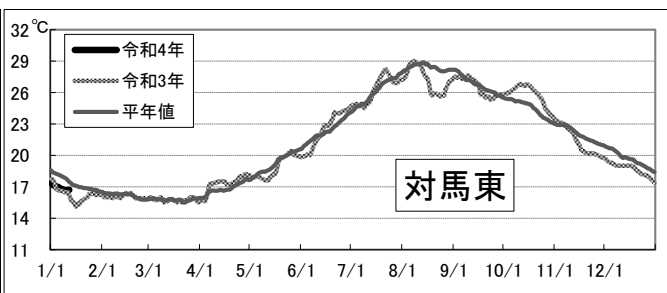
## 〔日本海スルメイカ情報〕

今期（1/6～1/7の2日間）沖合イカ釣（船凍船）は、隠岐諸島北沖で操業。沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び隠岐諸島周辺～山形沖で操業。鳥取県西部（沖合船）2日延7隻、総計108箱、1航海最高27箱、平均15.4箱。スルメイカを漁獲、魚体は20～30入。（漁業情報サービスセンターより）

## 〔海面水温情報〕 MGSST（人工衛星水温） [気象庁発表] より

令和4年1月6日～令和4年1月12日の平均水温

	水温	前週差	平年差
対馬東	16.7℃	-0.5℃	-0.7℃
五島西沖	16.9℃	-0.8℃	-0.6℃
五島灘	17.4℃	0.1℃	-0.6℃



## 〔お知らせ〕

漁海況通信「第4-1号 長崎県周辺海域の海面水温（1月号）」「第4-2号 対馬・壱岐海区のスルメイカ漁況予報」「第4-3号 6県ケンサキイカ情報（11月号）」を公表しました。漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>